

'01 滋賀医科大学

解説

(1) $P(x, y)$ が C_+ 上の整数点ならば, $Q(u, v)$ は明らかに整数点で

$$\begin{aligned} u^2 - 2v^2 &= (-x + 2y)^2 - 2(x - y)^2 \\ &= -x^2 + 2y^2 = -1 \end{aligned}$$

$(2y)^2 - x^2 = 4y^2 - x^2 = 2y^2 - 1 \geq 1$ から

$$u = -x + 2y > 0$$

$x^2 - y^2 = 1 + 2y^2 - y^2 = 1 + y^2 \geq 2$ から

$$v = x - y > 0$$

ゆえに, $Q(u, v)$ は C_+ 上の整数点である.

逆に, $P(x, y)$ が C_- 上の整数点ならば, $Q(u, v)$ は明らかに整数点で

$x^2 - 2y^2 = -1, x \geq 2, y \geq 2$ から

$$u^2 - 2v^2 = (-x + 2y)^2 - 2(x - y)^2 = -x^2 + 2y^2 = 1$$

$(2y)^2 - x^2 = 4y^2 - x^2 = 2y^2 + 1 \geq 9$ から

$$u = -x + 2y > 0$$

$x^2 - y^2 = y^2 - 1 \geq 3$ から $v = x - y > 0$

よって, $Q(u, v)$ は, C_+ 上の整数点である.

(2) $y - v = y - (x - y) = 2y - x = u > 0$ から

$$0 < v < y$$

(3) $(\sqrt{2} + 1)^n = x_n + y_n\sqrt{2}$ から

$$\begin{aligned} x_{n+1} + y_{n+1}\sqrt{2} &= (\sqrt{2} + 1)^{n+1} \\ &= (x_n + y_n\sqrt{2})(1 + \sqrt{2}) \\ &= (x_n + 2y_n) + (x_n + y_n)\sqrt{2} \end{aligned}$$

x_n, y_n は整数であるから $x_{n+1} = x_n + 2y_n, y_{n+1} = x_n + y_n$

このとき

$$\begin{aligned} x_{n+1} - y_{n+1}\sqrt{2} &= (x_n + 2y_n) - (x_n + y_n)\sqrt{2} \\ &= (1 - \sqrt{2})x_n - \sqrt{2}(1 - \sqrt{2})y_n \\ &= (1 - \sqrt{2})(x_n - y_n\sqrt{2}) \text{ から} \end{aligned}$$

$$x_n - y_n\sqrt{2} = (1 - \sqrt{2})^n$$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに } x_n^2 - 2y_n^2 &= (x_n + y_n\sqrt{2})(x_n - y_n\sqrt{2}) \\ &= (1 + \sqrt{2})^n(1 - \sqrt{2})^n \\ &= (-1)^n \end{aligned}$$

よって, $P_n(x_n, y_n)$ は, C_+ または C_- 上にある.

'01 滋賀医科大学

(4) $P(s_n, t_n)$ に対して, $Q(s_{n+1}, t_{n+1})$ を

$$\begin{cases} s_{n+1} = -s_n + 2t_n \\ t_{n+1} = s_n - t_n \end{cases} \text{で定める.}$$

(1) から, P が C_+ または C_- 上の整数点ならば, Q も C_- または C_+ 上の整数点である. また, (2) より, $0 < t_{n+1} < t_n$ であることから, ある整数 N が存在して, $s_N = 1$, $t_N = 1$ となる.

逆に, $Q(a_n, b_n)$ に対して $P(a_{n+1}, b_{n+1})$ を定めるために

$$a_1 = b_1 = 1, \quad a_{n+1} = a_n + 2b_n, \quad b_{n+1} = a_n + b_n$$

と定めると

$$\begin{aligned} a_{n+1} + \sqrt{2}b_{n+1} &= (a_n + 2b_n) + \sqrt{2}(a_n + b_n) \\ &= (1 + \sqrt{2})a_n + (1 + \sqrt{2})\sqrt{2}b_n \\ &= (1 + \sqrt{2})(a_n + \sqrt{2}b_n) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに } a_n + \sqrt{2}b_n &= (1 + \sqrt{2})^{n-1}(a_1 + \sqrt{2}b_1) \\ &= (1 + \sqrt{2})^n \end{aligned}$$

よって, C_+ または C_- 上の整数点は $P_n(x_n, y_n)$ に限る.

(5) $x_n - y_n\sqrt{2} = (1 - \sqrt{2})^n$ から

$$(x_{n+1} - y_{n+1}\sqrt{2}) - (x_n - y_n\sqrt{2}) = (1 - \sqrt{2})^{n+1} - (1 - \sqrt{2})^n$$

ゆえに

$$(x_{n+1} - x_n) - (y_{n+1} - y_n)\sqrt{2} = -\sqrt{2}(1 - \sqrt{2})^n$$

$$\text{よって } \frac{y_{n+1} - y_n}{x_{n+1} - x_n} = \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{(1 - \sqrt{2})^n}{x_{n+1} - x_n}$$

$$x_{n+1}, x_n \text{ は異なる整数であるから } \left| \frac{(1 - \sqrt{2})^n}{x_{n+1} - x_n} \right| \leq (\sqrt{2} - 1)^n$$

$$\text{したがって } \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{y_{n+1} - y_n}{x_{n+1} - x_n} = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

講評

級数の標準問題. 整数点 (いわゆる格子点) という形自体は, 見かける機会の多い問題であるが, 苦手な受験生は多い. 是非ともこの問題を通じて, 解法になれておきたい. 理系の難度の高いところでは頻出の形式. きちんと押さえておきたい.